

復興を歩む

vol.2

いつとき帰宅バス

乗用車などの交通手段を持たない高齢者等も一時帰宅ができるようにと、村が運行を始めた「いつとき帰宅バス」。平成25年8月にスタートし、昨年11月には利用者が延べ1000人に達しました。

バスは、祝祭日を含む月曜日から金曜日に利用できます。乗車の2日前までに予約が必要で、コースは「松川コース」「福島市内コース」「伊達コース」「相馬・南相馬コース」に分かれています。それぞれに巡回のルートがあり、停留所も設けられていますが、停留所以外での乗降についても、予約時に相談することができます。利用者は、あらかじめ申し込んでいた場所から乗車し、村内でも各自、予定の場所で降車します。バスは村内で待機し、帰路の迎えに回るのは、午後3時頃になります。また、安全確保のため、厳

冬期は運休。悪天候の際は運行を中止したり滞在時間を短縮したりして対応しています。

この日運行された「松川コース」の利用者は5人でした。その中の1人、熊谷テル子さん（飯樋町）は89歳。入居していた借り上げ住宅を家主の都合で退去し、4月から福島市松川町の仮設住宅へ移りました。それまで同居していた孫の和恵さんは南相馬市の社宅暮らしに。和恵さんの送り迎えで村内の自宅に通うことができなくなり、現在は週に2回「いつとき帰宅バス」を利用しています。帰宅時は、2匹の愛猫を外で遊ばせながら、猫のエサやトイレの世話をしたり、庭先の草むしりをしたり。「なかなか手が回らないですけどね」。午後3時が近づくと、熊谷さんは仕度を整え、猫たちに「仲良くお礼口さんしているんだよ」と声をかけました。昨年亡くした娘さんやご主人など家族の写真が見送ります。熊谷さんは少し早めに道へ出て、迎えのバスを待ちました。



甘えん坊の愛猫タマを胸に抱く熊谷さん。家族と暮らした自宅をとても大切に思っています。「いつとき帰宅バス」の利用は予約制です。乗車の2日前までに、電話でご予約ください。

予約電話はこちら—
080-5842-5489

